



## 環境設定ガイド - Azure

2023/02/02



Copyright(C) 2023 Digital Assist Corporation. All rights reserved.

## 目次

目次 .....	2
はじめに.....	3
リソース グループ の作成.....	4
App Service の作成 .....	4
ストレージ アカウント の作成 .....	5
SQL データベース の作成 .....	5
FormPat プログラムフォルダの作成 .....	6
FormPat データフォルダの作成 .....	6
FormPat 環境設定ガイド.....	6

## はじめに

本書では、『FormPat 環境設定ガイド』を Microsoft Azure の環境設定について補足します。

本書は、『FormPat 環境設定ガイド』の「IIS のインストール」、「データベースのインストール」、「FormPat プログラムフォルダの作成」、「IIS の設定」、「FormPat データフォルダの作成」を Azure の環境設定向けに差し替える内容です。

本書は、FormPat Ver.8.3.0 以降を対象としています。

## リソース グループ の作成

1. Azure Portal にサインインします。
2. [≡ (メニュー)]→[リソース グループ]を選択します。
3. [+作成]を選択します。
4. 「リソース グループ」に名称を入力、「リージョン」を選択後、[確認および作成]をクリックします。
5. [作成]をクリックします。

## App Service の作成

1. [≡ (メニュー)]→[App Service]を選択します。
2. [+作成]を選択します。
3. 「リソース グループ」は作成した「リソース グループ」を選択、「名前」を入力、「ランタイム スタック」は[ASP.NET V4.8]を選択、「地域」は「リソース グループ」の「リージョン」と同じ内容を選択、「SKU とサイズ」はプランを選択後、[確認および作成]をクリックします。（他の項目は既定値）
4. [作成]をクリックします。
5. 再度、[≡ (メニュー)]→[App Service]を選択します。
6. 「名前」から3.で作成した「名前」を選択します。
7. [デプロイ センター]を選びます。
8. [FTPS 資格情報]を選びます。
9. 「FTPS エンドポイント」にFTPソフトで Azure へ接続するための「ホスト名」が含まれていますのでコピーしておきます。  
ホスト名は `https://xxxxxxx/site/wwwroot` の `xxxxxxx` の部分です。
10. 「ユーザー スコープ」の「ユーザー名」、「パスワード」、「パスワードの確認」を入力後、[保存]をクリックします。  
「ユーザー名」は、'App Service の「名前」¥ユーザー名'の形式で入力します。
11. [構成]を選びます。
12. 「アプリケーション設定」の[+新しいアプリケーション設定]を選びます。
13. 「名前」は WEBSITE\_TIME\_ZONE、「値」は Tokyo Standard Time を入力後、[OK]をクリックします。
14. 「構成」の[全般設定]を選びます。
15. 「プラットフォーム」は[64 Bit]を選択、「常時接続」は[オン]を選択、「HTTPS のみ」は[オン]を選択後、[保存]をクリックします。（他の項目は既定値）
16. 「構成」の[パスのマッピング]を選びます。
17. 「仮想アプリケーションとディレクトリ」の「仮想パス」が / の[編集]を選びます。

18. 「物理パス」の site¥wwwroot を site¥FormPat へ変更後、[OK]をクリックします。
19. [TLS/SSL の設定]を選びます。
20. 「HTTPS のみ」は[オン]を選択します。（他の項目は既定値）

## ストレージ アカウント の作成

1. [≡ (メニュー)]→[ストレージ アカウント]を選択します。
2. [+作成]を選択します。
3. 「リソース グループ」を選択、「ストレージ アカウント名」を入力、「地域」は「リソース グループ」の「リージョン」と同じ内容を選択、「冗長性」はプランを選択後、[確認および作成]をクリックします。（他の項目は既定値）
4. [作成]をクリックします。
5. 再度、[≡ (メニュー)]→[ストレージ アカウント]を選択します。
6. 「名前」から 3.で作成した「ストレージ アカウント名」を選択します。
7. [アクセス キー]を選択します。
8. [キーの表示]を選択します。
9. 「key1」の「接続文字列」は『FormPat 環境設定ガイド』の「システム環境ファイル (control.config)の設定」で必要ですのでコピーしておきます。
10. [構成]を選択します。
11. 「TLS の最小バージョン」は[バージョン 1.0]を選択します。

## SQL データベース の作成

1. [≡ (メニュー)]→[SQL データベース]を選択します。
2. [+作成]を選択します。
3. 「リソース グループ」を選択、「データベース名」を入力後、「サーバー」の[新規作成]をクリックします。
4. 「サーバー名」を入力、「場所」は「リソース グループ」の「リージョン」と同じ内容を選択、「認証方法」は[SQL 認証を使用する]を選択（既定値）、「サーバー管理者ログイン」を入力、「パスワード」、「パスワードの確認」を入力後、[OK]をクリックします。
5. 「サーバー」は 4.で作成した「サーバー名」を選択、「コンピューティングとストレージ」は[データベースの構成]を選択します。
6. 「サービス レベル」は[Standard]を選択します。  
「DTU」、「データの最大サイズ (GB)」は、既定値 10、250 のまま[適用]をクリックします。（FormPat の最小構成の設定です。適宜設定してください。）
7. 「SQL データベースの作成」の [追加設定]を選びます。

8. [データベース照合順序] に Japanese\_CI\_AS を入力、[確認および作成]をクリックします。（他の項目は既定値）
9. [作成]をクリックします。
10. 再度、[≡ (メニュー)]→[SQL データベース]を選択します。
11. 「名前」から 3.で作成した「データベース名」を選択します。
12. [サーバー ファイアウォールの設定]を選択します。
13. [+クライアント IPv4 アドレス(xxx.xxx.xxx.xxx) の追加]を選択、[保存]をクリックします。  
  
(xxx.xxx.xxx.xxx) が IPv6 表記(yyyy:yyyy:yyyy:yyyy:yyyy:yyyy:yyyy:yyyy)のときは、追加後、IPv4 アドレスへ変更してください。
14. 「Azure サービスおよびリソースにこのサーバーへのアクセスを許可する」のチェックを ON にします。
15. [接続性]を選択します。
16. 「TLS の最小バージョン」は[TLS 1.0]を選択します。

## FormPat プログラムフォルダの作成

1. Digital Assist のサイトよりダウンロードした「基本ソフト」FormPat\_xxx.zip(xxx はバージョン) を展開(解凍)します。
2. FTP ソフトで Azure へ接続します。  
ホスト名、ユーザー名、パスワードは、「App Service の作成」の「FTPS エンドポイント」に含まれるホスト名、「ユーザー名」、「パスワード」です。
3. /site の下の階層へフォルダ FormPat を作成します。
4. 展開(解凍)後の「基本ソフト」を /site/FormPat へアップロードします。

## FormPat データフォルダの作成

1. Digital Assist のサイトよりダウンロードした「フォルダファイル」FormPatData\_xxx.zip (xxx はバージョン) を展開(解凍)します。
2. FTP ソフトで Azure へ接続します。
3. / の下の階層へフォルダ FormPatData を作成します。
4. 展開(解凍)後の「フォルダファイル」を /FormPatData へアップロードします。

## FormPat 環境設定ガイド

1. 『FormPat 環境設定ガイド』の「データベースの作成」を行います。
  - ・ Azure では、database.sql の修正が必要です。

展開(解凍)後の「フォルダファイル」 database.sql を[メモ帳]等のテキストエディタで開き、3行目から12行目を削除します。

3: -- データベース作成

4: USE master

5: GO

:

10: -- テーブル作成

11: USE FormPat

12: GO

- ・ SQL Server Management Studio は、「SQL データベース の作成」の「サーバー名」,「サーバー管理者ログイン」,「パスワード」で Azure の SQL データベースへ接続し、上記の database.sql を実行します。
2. 『FormPat 環境設定ガイド』の「システム環境ファイル(control.config)の設定」を行います。
- ・ 設定は、展開(解凍)後の「基本ソフト」の control.config で行います。
  - ・ 設定後の control.config は、FTP ソフトで Azure の「FormPat プログラムフォルダ」へ上書きアップロードします。
3. 『FormPat 環境設定ガイド』の「FormPat の動作確認」を行います。
- ・ URL は https://「App Service の作成」の「名前」.azurewebsites.net」です。  
[≡ (メニュー)]→[App Service]を選択→「名前」を選択後、「URL」で確認できます。